

マーティン・ファーガソン 豪州連邦政府 資源・エネルギー・観光大臣との昼食会

2011年7月26日

財団法人 石炭エネルギーセンター

7月19日、来日された豪州連邦政府 資源・エネルギー・観光大臣 マーティン・ファーガソン氏を招き、JCOAL 主催による昼食会を開催した。

豪州側は連邦政府 資源・エネルギー・観光省のマーティン・ファーガソン大臣、ニック・ロバーツ大臣官房主席資源アドバイザー、マーティン・ホフマン次官補が、日本側はJCOAL 中垣会長と会員企業6社〔J-POWER、新日本製鐵(株)、三菱商事(株)、(株)IHI、川崎重工業(株)、三菱重工業(株)〕が出席した。

JCOAL 中垣会長の挨拶では東日本大震災への豪州政府からの援助と心遣いに対する感謝、石炭関連における日豪関係の重要性、日本における石炭を取り巻く状況などが述べられ、マーティン・ファーガソン大臣からは、東日本大震災へのお見舞いの言葉に続き、クイーンズランド州洪水被害への日本からのお見舞いに対する感謝、日豪の経済・投資・観光などでのパートナーシップの更なる深まり、石炭供給力向上や地球温暖化ガス排出量低減への技術開発といった石炭分野での日豪協働の重要性などが述べられた。

昼食を取りながらの短い時間ではあったが、JCOAL と会員企業からの事業紹介の後、意見交換が行われた。

ここでは、先般公表された豪州の資源税・カーボンタックス導入が話題となったが、マーティン・ファーガソン大臣からは、地球温暖化ガスのゼロエミッションを含め豪州における将来のエネルギーベストミックスなど全体バランスを考慮することが重要であり、日本側からのオープンな意見を期待するとのことであった。



前列右から3番目がマーティン・ファーガソン大臣、その左が JCOAL 中垣会長

以上

(本件のお問合せ先)

住所：東京都港区三田 3-14-10 明治安田生命三田ビル 9階

財団法人 石炭エネルギーセンター

担当：アジア太平洋コールフローセンター 松田、藤田

電話：03-6400-5193